


タリ、サラバ神代ノムカシヨリ、鞆ニハカナラズ繪カクモノニヤ、マサシキ物ヲバイマダ見テ  
ド、近比大神宮ニ進ラセラレシ、御鞆ノ圖ヲ見ル事ヲ得タリキ、ソノ形モソノ繪カキシモノ  
モ、共ニ世ニイフ鞆繪トイフ物ニハ似テケリ、世ニトモエトイフモノハ、水ノウヅマク形ナレ  
ニ、皆鞆繪トシルセリ、但シ吉部秘訓ニ  
圖セシ所ハ鞆繪カキシ物ニハアラズ、巴ノ字ヲ用フトイフナリ、サレドモフルキ物

〔日本書紀通證<sup>四</sup>〕今按、略中一書曰、今所獻伊勢神財鞆其形如瓢、黑漆以銀粉畫巴紋、表裏各一也、  
巴訓爲登毛惠、江次第所謂鞆繪也、出雲風土記如畫鞆是也、

〔安齋隨筆<sup>後編十</sup>〕一巴の字訓 俗に巴の字を、トモエと訓を付たり、其故を知りたる人なし、中  
略貞丈按するに、鞆繪の形  如此、巴の字の形相似たるが故に、其字形に據て、トモエと訓を  
付たるなり、字の形に據て訓を付たれば、巴の字より外にはなし、正訓には非ず、俗訓也、

〔承久記<sup>上</sup>〕一院鳥羽彌御心タケクナラセ給フテ、先トモエノ大將西園寺公經ヲウタバヤト被仰ケレ  
バ、公卿殿上人口トシテ物モ不被申、

○按ズルニ、西園寺家紋鞆繪ノコトハ、車施紋ノ條ニモアリ、

〔宇都宮系圖〕家紋、左巴、

賴朝卿之時、右陣小山、左陣宇都宮也、故以左巴爲紋、

〔寛永系圖<sup>十二</sup>〕清和源氏 土方 家紋、左巴、

〔寛永系圖<sup>八</sup>〕林系圖 源姓、家紋左巴、一引龍、

〔寛永諸家系圖傳<sup>百九</sup>〕山田

家紋、二頭の右巴、

〔諸家系圖纂<sup>三十九</sup>〕桓武平氏、柘植 家紋、三頭左巴、

〔寛永諸家系圖傳<sup>二十九</sup>〕板倉